

保育の現場・職業の魅力向上検討会

～待機児童問題に挑戦～

2020年7月

高田勇紀夫

目次

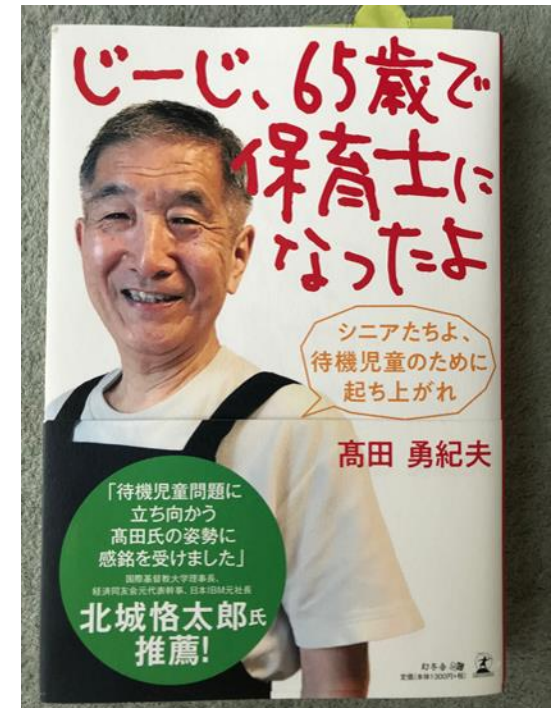
1. 自己紹介
2. 保育士の要望
3. 保育士の魅力向上案 1 : ITの徹底活用
4. 保育士の魅力向上案 2 : シニア人材活用の推進
5. まとめ



略 歴

高田勇紀夫(たかだゆきお) 68歳

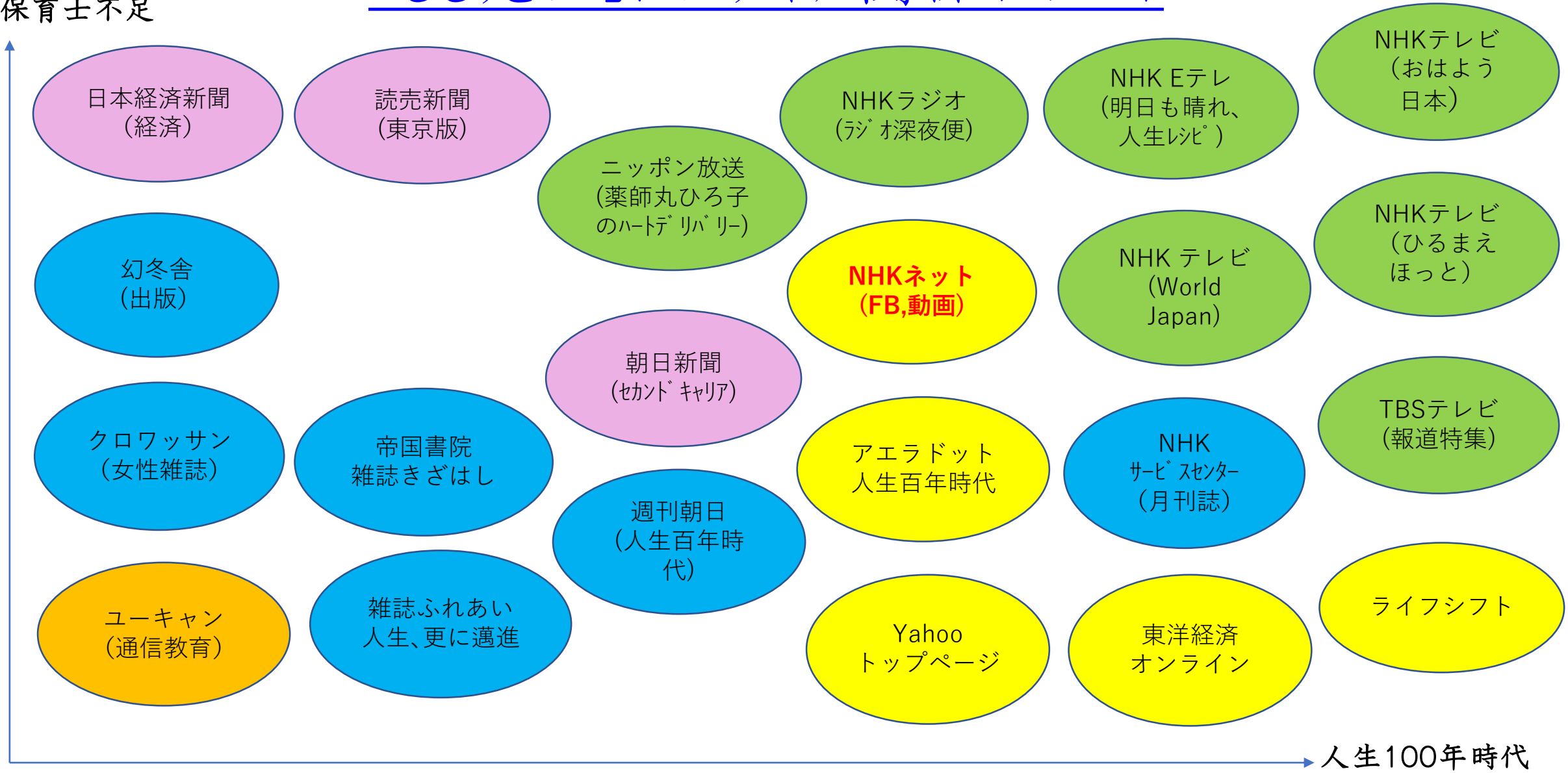
- 74年に都立大学・経済卒。
- 74年に日本IBMにSEとして入社し、製品情報担当、常務補佐、営業所長、米国IBM勤務、アジア太平洋地域勤務、CS担当、ビジネスコントロール担当などを経験し、11年に定年退職。
- 12年から介護事業会社(上場企業)に開発部長として勤務。
- **17年に保育士試験に合格**、都内の認可保育所に保育士として勤務。「じじ先生」の愛称で園児たちから慕われている。
- 幻冬舎より「**じーじ、65歳で保育士になったよ**」を出版。
- シニアの男性現役保育士としてメディア関係から注目されている。
NHK動画 **再生回数:131万回**、いいね件数:3.8万件



<https://www.facebook.com/NHKhuman/videos/790547771465686/>

待機児童問題、
保育士不足

「じじ先生」にメディア関係が注目



目次

1. 自己紹介
- 2. 保育士の要望**
3. 保育士の魅力向上案 1 : ITの徹底活用
4. 保育士の魅力向上案 2 : シニア人材活用の推進
5. まとめ



保育士の要望

✓ 保育士になっても、辞めていく(民間の認可保育所)

1. 処遇が十分でない

- 保育士の改善要望(不満)1位は「給与・賞与の改善」(59%)と最も切実な課題。(賃金構造基本統計調査)
- 決まって支給される現金給与額は**214千円**(税込で、各種手当、残業代などを含む)。
- 全業種の平均給与は**326千円**であり、保育士は月当たり11万円も低い。
- 子どもが好きで保育士になったが、年金もあてにできず、処遇の低さから将来への不安も。
- 5年以内に離職した保育士が半数以上。(厚生労働省データ)

2. 勤務がきつい

- 改善要望2位「**職員数の増員**」(40%)、3位「**事務・雑務の軽減**」(35%)、4位「**未消化休暇の改善**」(32%)。
- 長時間労働、不規則シフト(早朝、遅番)、土曜出勤で疲れが抜けにくい。人手不足で休めない。
- 子どもの命を守る仕事で、事故、怪我、病気など1秒たりとも気が抜けない。
- 食品アレルギー、SIDS(乳幼児突然死症候群)、交通事故、水遊びでの事故などリスクは大きい。

目次

1. 自己紹介
2. 保育士の要望
- 3. 保育士の魅力向上案 1 : ITの徹底活用**
4. 保育士の魅力向上案 2 : シニア人材活用の推進
5. まとめ



顧客満足度と職員満足度向上が勝負

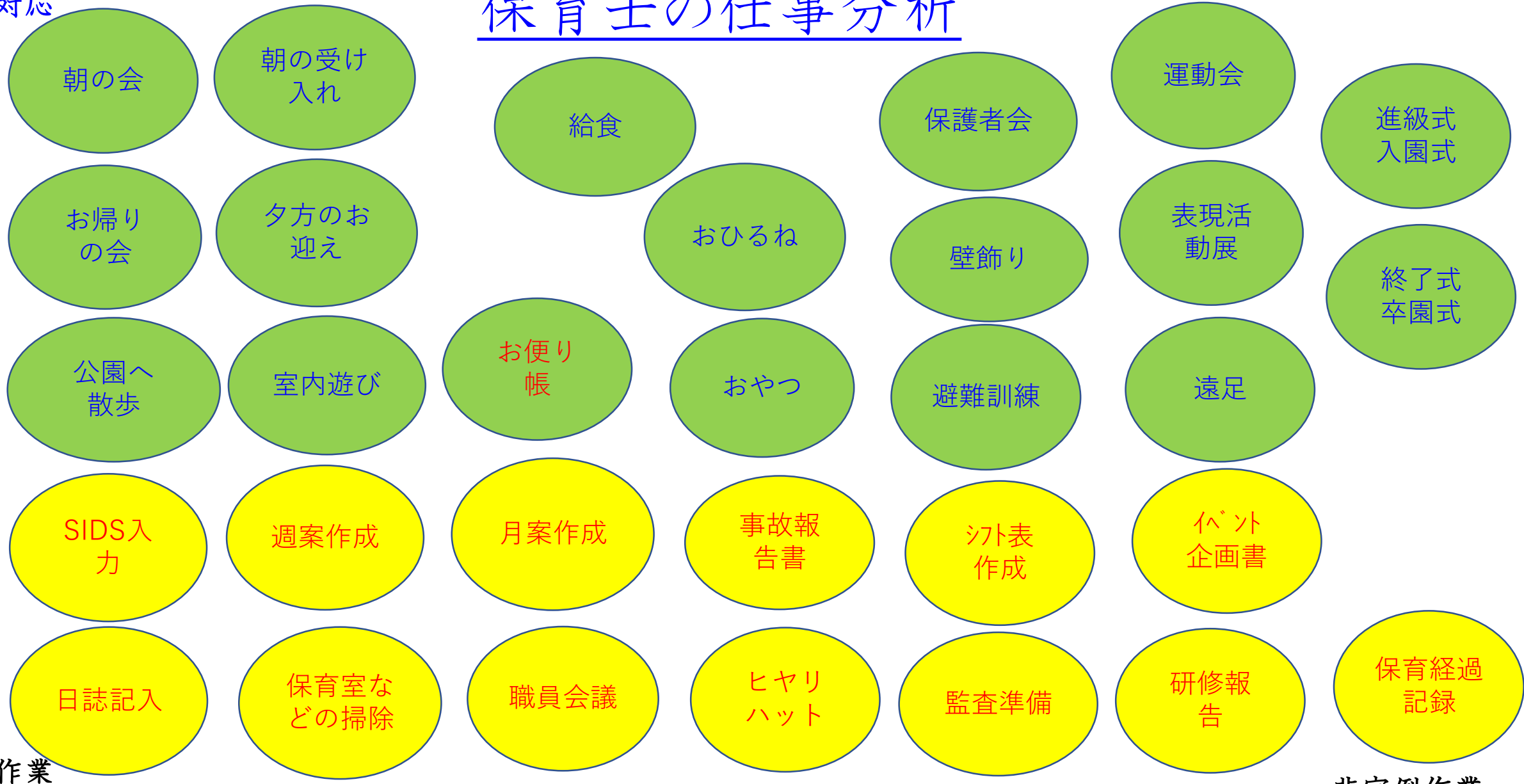
- 待機児童問題が未解決の一方で、少子化のため保育所生き残りが始まっている
- 生き残りには、差別化、つまり保育所ブランドの確立が急務
- ブランド確立には保護者と子どもの**顧客満足度**がキー
- 顧客満足度を高めるには働く**職員満足度**がキー
- 保育士の不満足度上位は①処遇、②勤務時間、③有休、④交代要員
- 対応策：①は国と地方自治体に継続的に改善をお願いする。
- ②～④については、「ITの徹底活用」による保育士の生産性と質の向上、また「シニア人材活用の推進」による保育士の数を増やす、の2つを提案する。

顧客対応

保育士の仕事分析

内部作業

非定例作業



2020/7/8

定例作業

人生100年時代の入口に立つ

保育士の魅力向上案:ITの徹底活用

現状:

顧客対応時間

園児対応時間

保護者対応時間

- ・内部事務処理に時間が割かれる
- ・保育の質の向上を図りたい
- ・顧客へもっと集中したい

内部事務処理時間

計画書作成

報告書作成

- ・紙・ペン・ハンコ・コピー・バインダー・FAX
- ・PCやタブレットが少なく、生産性を阻害
- ・監査も紙本位で、膨大なコピーの山

ITの活用:

顧客対応時間

園児対応時間

保護者対応時間

- ・園児や保護者対応の時間を増加
- ・保育の質向上

内部事務処理時間

計画書記入

報告書作成

- ・報告書作成時間の短縮(例:お便り帳)
- ・分析機能の向上(例:事故報告書)

目次

1. 自己紹介
2. 保育士の要望
3. 保育士の魅力向上案 1 : ITの徹底活用
- 4. 保育士の魅力向上案 2 : シニア人材活用の推進**
5. まとめ



NHK動画へのコメントの一部

- この生き方凄く憧れます。私の本当にやりたい理想の生き方です。私も来年定年を迎えます何か良いきっかけ作りができないかなと今からわくわくしています。
- (前略)女性の方が多い保育の現場ですが、実際は力仕事も多くて男性の手があるのはかなり助かると思います。また、若い先生の出入りが多い職業というイメージも強いので、この年代の方がサポートにいてくれると、女性保育士も結婚や出産に、また産後の復帰の後押しにもなってもっと保育の現場が良くなるんじゃないかな。(64件)
- (前略)今まで、色々な人生経験を積んでこられた実績がある方だからこそその魅力だと思います。その魅力が子ども達にも空気で伝わっているような気がしています。色々な年代の先生が揃っているのは、偏りを少なくし、調和がとれて、そのような環境に置かれることは、子どもにとっても、良い影響になると思います。(39件)
- 素晴らしい生き方に感銘致します。まだまだ体力も気力もある60代、そのバイタリティーを、保育士に向け、子供達を預かる、本当に頭が下がります。(後略)(30件)
- 素晴らしいと思う。人手不足な業界という現実も伝えてる。日本って国家資格に対する対価が雑。(107件)
- じい先生のお姿に勇気をいただきました。(中略)皆さんに知っていただきたいので、シェアさせてください。私も一保育士として、毎日を大切に過ごしたいと思いました。(後略)
- 私も保育士なのですが、素敵で人生の選択をされたのだな、と思います。(後略)
- 自分も早くいっぱい稼いで、保育士の仕事をやりたい。保育士資格持っているけど、生活出来ないの…

保育士としてのシニアの5つの心構え

1. 何と言っても「健康」であること。

保育士は立ち仕事であり、デスクワークとは違う。健康の維持には適度の栄養と運動と睡眠が大事。毎日40分の速歩と毎週のテニス、そして毎日の体重測定が健康のバロメーター。

2. 学ぶという「謙虚さ」が大事である。

今までの会社での肩書や実績は忘れ、古いプライドは邪魔である。まさに新入社員であり、20代の先輩保育士に学ぶ意識が必要。50年前の初々しい自分を思い出すと良い。

3. 「好奇心」を忘れないこと。

歌は毎月変わる。演奏が苦手な私だが、知らない曲や歌もあるが、好奇心をもって取り組み、スポンジのようにどんどん吸収する。パプリカなど新しいダンスも振り付けをYoutubeで覚える。

4. 無理はせず、「週3日」勤務が良い。

自分の年齢と体力を考えて、無理せずに、保育士として細く長く勤務することが大事。週3日のシニア保育士が二人いれば、一人の保育士5日勤務より、多くをカバーできることも。

5. 最後に「笑顔」を忘れないこと。

子ども達は保育士の表情に敏感である。同僚の女性保育士もシニア男性保育士をよく観察し、慣れるまでは場合によっては警戒も。笑顔は世界共通のコミュニケーション言語である。



シニア保育士の活用(案)

- ✓ シニア世代から保育士や保育補助にチャレンジしようという人を増やす
 - **短大などでシニア向け保育コース(パイロット・コース)**
入学金・授業料のシニア割
シニア保育士による特別授業(保育園での活動・体験・喜び)
…シニア受講生に保育士の実際や楽しさを理解してもらい、保育士になるモチベーションを高める。
 - **通信教育でシニア向け保育コース(パイロット・コース)**
シニア保育士による特別プログラム(合格へのアドバイス、保育園での活動・体験・喜び)
…シニア受講生が保育士試験に合格するポイントをアドバイスし、保育士になるモチベーションを高める。
 - **人材仲介会社へシニア保育士の付加価値を理解していただく**
語学力、マネジメント能力、交渉力、顧客満足度向上の視点
 - **地方自治体主催のシニア向け保育補助研修の充実**
例)「55歳以上の方のための就職支援講習「保育補助員」」コースにシニア保育士の話し
 - **メディアの活用を通してシニア人材の「保育への期待」を情報発信する**
メディア(テレビ、ラジオ、新聞、雑誌、インターネット)を通してシニア保育士の活躍・期待を紹介し、「人生100年時代の生き方」にふさわしい仕事としてプロモーションする。

保育の現場・職業の魅力向上検討会(まとめ)

- 保育士の確保には、**処遇の改善**に尽きる。
- 保育士の生産性向上には、**ITの徹底活用**がある。
紙とハンコ文化、コピーやファイリングからの別離。一人ひとりがタブレットを使い、システムで分析し、保育の質と生産性の向上を図る。
日本の就業者1人当たり労働生産性はOECD加盟国中21位で、第1位である国の約半分しかない。(出所:日本生産性本部『労働生産性の国際比較2018』)
- 日本全体が少子化で縮小していく今、「人生100年時代」の今、**シニア人材**にとって保育所はふさわしい職場の1つである。
シニア人材は「**学び直し**」で保育士や保育補助となり、保育所で子ども達と一緒に遊び、一緒に学び、一緒に成長する。

保育の現場・職業の魅力向上検討会

～待機児童問題に挑戦～

ご清聴ありがとうございました

2020年7月

高田勇紀夫